

平成30年度第3回南国市総合教育会議 議事録

平成31年2月12日(火)

10:00	事務局 (企画課長)	定刻となりましたので、ただいまより、第3回南国市総合教育会議を開会いたします。それでは、平山市長よろしく申し上げます。
開会の挨拶	市長	本日はお忙しい中、南国市総合教育会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。今回は会議次第にあるとおり、「教育委員会の自己点検・評価」につきまして、皆様から報告をいただき、意見交換をさせていただきたいと思っております。また、本年1月16日付で竹内教育長が就任され、本日の会議から出席されております。どうぞよろしくようお願い申し上げます。
議事(1) 10:05	市長	まず始めに、「南国市教育委員会の自己点検・評価について」皆様方から報告をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします
	教育長	【教育長の説明：資料を基にした内容】
	市長	報告ありがとうございます。教育委員の皆様から補足等ございませんでしょうか。
	教育委員	ブロック塀、エアコンの設置について早急に対応していただきありがとうございます。国分寺の史跡発掘に伴う調査についても大変素晴らしいと思います。22ページ②学校教育にある「ESSENCE」とは、子どもたちの精神神経発達状態の違いを早期発見し対応するということです。高知県療育福祉センターにはギルバーク教授の考え方をもとにした部署があり、最初の所長であった畠中先生の研究という形で、県下全域に投げかけた結果、香美市と安芸市が簡単な「ESSENCE」の質問用紙での評価を平成26年度から何年か実施したようです。その評価用紙を保護者、専門家の心理士、各市町村の保健師で使用した結果、心理士と保健師の信頼度が同等であるとの結果がでました。この「ESSENCE」は、ADHD、自閉など特定の障害があると見て対応するのではなく、簡単な評価により、早期に発見して一緒に対応していくという考え方です。少子化による児童生徒数の減少や特別支援の対応児童生徒が増えている現状から、早期に手を打つことが望ましいのではないかと思います。先日、これについての講演がありましたが、良い勉強になりました。香美市や安芸市で市の保健師が中心となり取り組み、成果が出るかもしれないということです。南国市でもそういった視点で教育委員会と福祉が連携する仕組みを作って対応すれば、新しい一歩が踏み出せるのではないかと思います。保健師への研修も、費用も掛からず質問紙を使って半日程度でできるということなので、保健師に過剰な負担を与えず、より多くの子ども達を広くみることができると思います。療育センターとしても県下に広げていきたいということです。
	市長	ありがとうございます。そういった実績が上がっているシステムを南国市でも取り入れることができるか、というお話です。そのシステムを、どのように活かしていくかというアプローチが後に必要になるのではないかと思います。そこを上手くシステムや制度的に行うことができれば良いと思います。
	教育委員	現在、特別な支援が必要な児童やADHDの疑いのある児童が診断を受けるのに、半年から一年待たなければいけないという状況です。それよりも早く保健師が親と関わりをもちながら保育園、幼稚園でそれに向けて対応を重ねることによって、そういった機関での対応をしなくてもいいのではないかと思います。まず、

		早期にスクリーニングし、必要な児童に対応、処置していくという考え方のようです。
	市長	実施する場合、1歳6か月健診の時にすることになるのでしょうか。
	教育委員	そうです。簡単な質問紙に回答していただいて広い観点で見ることにより、保健師、心理士あるいは保護者と話をしながら診断し、今後につなげていく仕組みを香美市、安芸市が取っているようです。
	市長	香美市、安芸市で実施し効果が出ているということであれば、導入することは問題ないと思います。
	教育委員	ただ、研究レベルの取組なので引き続きどのような体制をとられているのかは分かりません。
	市長	そこに、どのような労働力、人手が必要になってくるのかと様々な条件がでてくると思います。
	教育委員	香美市の保健師の方がシンポジウムでの意見発表で、研究終了後も引き続き取り組んでいきたいと皆で話していますと報告されていました。
	市長	香美市の事例を参考に研究していくことは必要だと思います。1歳6か月健診を行っているのは保健福祉センターですので、そこで、どのように取り入れていくかを検討する必要があると思います。 今後、働き方改革をどういった形で進めていくようになるのでしょうか。現在、クラブの専任の方を一名雇用しているということですが、今後、他のクラブにも広めていくことになっていくのでしょうか。
	教育長	部活動指導というのは、大体3時30分頃から2時間程度ですが、その時間帯に指導できる方というのは限られています。時間の問題、競技に対する考え方、学校教育の一環であるという理解を得なければならないなど、人材がいない状況です。ただ、学生に入っていただくことや地域で活動している方にやっていただければもっと広がるのではないかと思います。
	市長	人材がいれば広げていく形をとっていくということですね。
	教育長	はい。町村では行政職員が休みをとって指導に行っているなど、どこも人材の問題で困っているというのが現状です。退職された方に運動部の指導をしていただくというのも難しいと思います。
	市長	ゲートキーパー研修ということで、今までリーフレット等作成されていますが、今後も続けていくということでしょうか。
	教育長	教職員については異動もありますし、今後も続けていくという考えです。
	市長	現在は年3回行っていますが、そういった形で複数回実施していくということですね。作成されたリーフレットは毎年活用されているのでしょうか。

教育長		各学校の参観日等で活用しています。これからは自殺の問題については学校の問題だけでなく、社会問題として大きく取り上げられていますので、学校だけではなく、保健福祉センターと連携することなど、形は変えていくことがあるかもしれませんが、学校は学校でやるべきことをやらなければならないと考えております。
市長		今後も続けていただきたいと思います。そういったことで意識の中で、問題を認識されているという方が増えているということなので安全に繋がると思います。英語の義務教育化が平成32年度からだと思います。現在、日章小学校、大湊小学校では取り組んでいるということですが、他校ではどのように取り組んでいますか。
教育長		南国市内につきましては新しい学習指導要領の前倒しを行っており、すでに実施しております。各時間を確保し外国語教育を指導しております。
市長		今年は、この2校以外の学校ではどのような授業をされましたか。
教育委員会事務局		日章小学校、大湊小学校を除き11校ありますが、3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間計70時間の英語か外国語の指導を実施しています。担任の教員が主となり11校となり授業をしている状況です。担任とALTの組み合わせになる場合もあれば、外国活動支援員の方を市で4名雇用していただいておりますが、担任の教員と支援員という組み合わせで授業を進めています。
市長		週1、2時間というのは、他の11校で実施されているわけですか。
教育委員会事務局		はい、実施しています。ですが、日章、大湊小学校については平成20年度から実施していますので、教科として見た時にはまだまだ開きの差があります。その辺りを2020年実施に向けて実施しているところです。
市長		<p>日章、大湊小学校は、早くから週1、2時間を続けてきたということで、他の学校についても同様の形で今始められたということですのでよろしいでしょうか。そして平成32年度に向けて開始しているということですね。ありがとうございます。英語については、様々な国際交流がある中で私自身反省している部分もございまして、タイへ行っても話ができず、付いていただけとなっております。そういったことが無いよう、自分で壁を作らない教育環境をお願いしたいと思います。</p> <p>国語については自国の言葉を理解して話す、書くということが基本になりますので、そこが課題になっているというのは寂しいことだと思います。ただ、人前で話すということは難しいです。そういったことはやはり慣れでもございまして、話すことによって話し方を次第と学んでいくのかとも思います。先日、山田高校に発表していただきましたが、人前で物怖じせず話せる教育を成されているのかなと非常に感心しました。発表の仕方に個人差はありましたが、人前で発表する環境で、高校1年生でできていることにも感心させられました。</p> <p>一昨日、やなせたかし先生の生誕100年祭というものがありませんか。名誉市民に平成16年からなっていていただいておりますが、他にも南国市で功績をあげられた方がおり、南国市の教育の一環として名誉市民などを入れることはできるので</p>

		しょうか。
教育長		私も、生誕祭に参加しており後免野田小学校以外の学校については、やなせ先生の顕彰、活動を行うことが非常に薄かったと思っております。
市長		南国市としましても啓発という部分で、弱かった部分もございましたので、そういったところも考えていかなければならないと思っております。あと名誉市民はカシオ創業者の2名と、計3名となっていますので、南国市での功績というものをどう伝えていくのかという部分で考えさせられた機会となりました。
教育委員		新聞等で話題になっている虐待で、子どもの生命が失われるなど様々な問題が起きています。やはり、社会の歪というものは真っ先に子ども達に影響するのではないかと思います。家庭貧困やIT機器の発展から児童ポルノなど一番立場の弱いところへ被害が及んでいます。その中で学校としても対応をしなければなりません。そういった面では教職員も働き方改革など、取り組まなければならない中で、多忙ではあると思いますが、保護者対応などしっかりしていかなければ、後々問題に繋がっていくと思います。そこで予算的に厳しい面もあると思いますが、法的にしっかりと対応のできるスクールロイヤーを配置していただき、保護者と理解し、協力し合いながら子どもを育てていくというのが大切になってくると思います。加えて、そのようなことを相談できるようなところも必要になってくるのではないかと思います。
教育長		スクールロイヤーについては来年度予算に計上しております。日弁連から国への要望が出ているようで、それを計上根拠としております。南国市がどのようなスクールロイヤーの活用をするかは今後早急に詰め、紹介させていただきたいと思っております。
教育委員		ゲートキーパーの養成研修の補足となりますが、研修に行かせていただいて勉強させていただきました。ゲートキーパーである教員の方が子ども達のそばにすることは大切ではありますが、多忙の中で教員の方だけでは子ども達の命を守りきることは不可能ではないかと思いました。教員に心の余裕がなければゲートキーパーの役割は果たせないと思いますので、そういった意味で働き方改革は必要ではないかと思っております。家族や地域の方、大きく南国市全体でゲートキーパーの養成に力を入れ、みんなで子ども達を見守るということが大切ではないかと思っております。子ども達の叫び声を読み取る力が大人に必要なだと感じました。次に福祉の部分と連携していくという話もございましたので、福祉の方にゲートキーパーになっていただけるように情報発信をしていただき、市を挙げて協力していただけるようにお願いしたいと思います。
市長		研修の幅を広げ、多くの方に理解していただきたいということですね。その部分についても教育委員会と協議し対応していきたいと思っております。ほかに皆様から何かございますでしょうか。なければ、「教育委員会の自己点検・評価について」の議事は終了させていただきます。教育委員会が重点的に取り組まれている内容がよく分かりました。今後も、南国市教育振興基本計画等で示しておられる、南国市の教育行政の課題やあるべき姿を共有して、より一層実りのある教育行政の推進を図りたいと考えています。よろしくお願いたします。

議事（２）	市長	それでは、（２）その他に入らせていただきます。来年度の南国市総合教育会議の予定につきまして、事務局より説明をお願いします。
	事務局	【平成３１年度南国市総合教育会議開催予定一覧表】を説明。 公務等の都合による日程変更や、協議する必要がある事案が生じた場合、臨時的に開催する場合がございますので、よろしく願いいたします。
11:25	市長	以上をもちまして、第３回南国市総合教育会議終了をさせていただきます。ありがとうございます。